

平成23年度事業計画

1. 重点実施事項

(1) 構造設計者・工事監理者向け鉄筋継手技術講習会の開催

主管：事業委員会

一昨年度に改訂された鉄筋継手工事標準仕様書の更なる全国的活用を図るために、発注者の代理人としての設計事務所、特に構造設計者・工事監理者を対象とした鉄筋継手技術講習会を開催し、鉄筋継手の重要性、鉄筋継手の使い分け、監理のポイント等について周知する。

(2) 技量資格制度の見直し整備

主管：要員認証運営委員会・管理委員会、技量資格制度見直し検討小委員会、各検定委員会

本協会の要員認証に関して、現在の社会情勢、業界団体（圧接業界、検査業界）からの内要求及び協会の要員認証外部監視からの指摘事項への対応として、資格者の技量の維持・向上の観点から、技量検定及び講習会の実施方法や技量資格の有効期間など技量資格者検定制度を総合的に見直し、整備する。

2. 主な実施事項

(1) 鉄筋継手の品質確保に関する事項

主管：鉄筋継手品質確保推進特別委員会

- ①昨年度までのガス圧接継手、溶接継手に引き続き、標準機械式継手検査要領書について検討し策定する。
- ②鉄筋継手外観検査マニュアルの改訂を行う。

(2) 鉄筋継手技術に関する調査研究

主管：技術委員会

次の5テーマについて調査研究を実施する。

1) 鉄筋継手の性能評価に関する調査研究（継続）

主管：鉄筋継手性能評価小委員会

これまでに各種継手工法ごとに定められた「性能確認方法」「技量試験項目」「合否判定基準」等の統合を図り、各種継手工法に共通する①性能確認方法及び合否判定基準、②継手検査方法及び合否判定基準、③技量検定試験方法及び合否判定基準を作成し、これらの基準の一体的運用策の提言を行う。

2) 機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定精度向上に関する調査研究（新規）

主管：非破壊検査小委員会

機械式継手の鉄筋挿入長さの測定精度向上のため、挿入長さの超音波測定精度について再度検証を行うとともに、鉄筋の径、種類に応じた適正な探触子の選定方法を提案する。

3) 鉄筋継手の検査方法の合理化に関する調査研究（新規）

主管：非破壊検査小委員会

- ①現行の一回抜取検査方法（1ロット当たり30箇所）を二回抜取検査方法等と

併せて抜取り数の軽減の可能性について検討を行う。

②溶接継手の超音波探傷検査方法として、直角K走査法と斜めK走査法の併用法を斜めK走査法のみとすることによる検査の合理化の可能性について検討を行う。

4) ガス圧接性能確保の施工条件に関する調査研究（新規）

主管：ガス圧接施工条件検討小委員会

鉄筋の製造時又は加工時の端部切断精度の現状を調査するとともに、鉄筋冷間直角切断機及びディスクグラインダーによる端面加工の所要時間を調査し、ガス圧接における作業標準の基礎資料とする。

5) ガス圧接技量検定試験における曲げ破面性状に関する調査研究（新規）

主管：ガス圧接破面性状検討小委員会

ガス圧接技量検定試験で曲げ破断が生じた場合の、破断の起点における介在物の存在と破断面のパターンの関係を調査し、検定試験における合否判定の基礎資料とする。

(3) 普及展開に関する事項

1) 構造設計者・工事監理者向け鉄筋継手技術講習会の実施

主管：事業委員会

主として、構造設計者・工事監理者に鉄筋継手の現状と品質管理の重要性を理解してもらい、設計者・監理者が留意すべき具体的な行動について解説する。

2) 平成 23 年調査研究発表会の開催

主管：技術委員会、事業委員会

平成 22 年度に実施した調査研究の成果を、行政、発注者、設計者、施工管理者、継手施工者等すべての鉄筋継手の関係者に広く公表する。東京では 5 月 30 日(月)の定時総会当日、大阪では 10 月頃実施する。

3) 関連団体等への標準仕様書、協会活動成果等の情報提供

主管：事業委員会、広報委員会

国土交通省、日本建築行政会議、関連団体等に対して、随時、標準仕様書、協会活動成果等の情報提供を行い、成果の活用を働きかける。

4) 優良会社認定制度のユーザーへの P R

主管：事業委員会、広報委員会

ユーザーへの P R のため、協会機関紙・他団体機関紙等に定期的に優良会社認定制度に関するパンフレットの折込みを行う。

5) 継手管理技士制度のユーザーへの P R

主管：継手管理技士講習委員会、事業委員会

鉄筋継手の品質管理の要としての各種継手管理技士の目的、役割についてユーザーに理解を得るため、定時講習会・試験の開催案内、継手管理技士パンフレットを広く一般に配布する。

6) 鉄筋継手の教育講座開設の提案及び鉄筋継手教材の提供

主管：事業委員会

大学・高専へ鉄筋継手の教育講座の開設を提案し、希望教職者に対して鉄筋継手サンプル等の教材を提供する。

7) 調査研究発表会の映像配信

主管：事業委員会、技術委員会、広報委員会

本協会の調査研究成果を広く展開するために、協会ホームページにて調査研究発表会（東京）の映像を配信し、一般ユーザーの理解を得る。

8) 鉄筋継手技術の海外展開

主管：国際対応委員会

急速に発展するアジアの建設市場において、わが国の優れた鉄筋継手技術を先行的にグローバルスタンダード化して、継手市場の優先権を獲得するため、3つの継手の標準仕様書のISO規格への取込み計画を検討し着手する。

(4) 教育・講習に関する事項

1) 継手管理技士講習会

主管：継手管理技士講習委員会

継手管理技士の育成のため、継手管理技士制度に則り、新規講習会を東京で、更新講習会を福岡、大阪、東京で実施する。

2) ガス圧接技術講習会

主管：ガス圧接技術講習委員会

ガス圧接技量資格者の技量水準の維持・向上のため、全国圧接業協同組合連合会及び各地区圧接業協同組合との連携により、全国各地でガス圧接技術講習会を15回実施する。

3) 機械式継手技術講習会

主管：機械式継手技術講習委員会

機械式継手の品質向上を図るため、主として機械式継手技能者を対象にして、機械式継手に関する正しい知識を習得してもらうよう、機械式継手技術講習会を全国各地で実施する。

4) 鉄筋継手部検査技術講習会

主管：鉄筋継手部検査技術講習委員会

鉄筋継手の信頼性確保のため、鉄筋継手部検査技術者資格制度に基づき、新しい検査技術に対応した鉄筋継手部検査技術講習会を全国各地で10回実施する。

5) 熱間押抜検査技術講習会

主管：熱間押抜検査技術講習委員会

熱間押抜ガス圧接部の信頼性確保のため、熱間押抜検査技術講習会をつくば、大阪で3回実施する。

(5) 要員認証に関する事項

1) 継手管理技士の認証

主管：要員認証管理委員会、継手管理技士試験委員会

継手管理技士資格試験規定に則り、4種類の継手管理技士の学科試験を全国6会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡）で、口述試験を東京で実施する。

2) ガス圧接技量資格者の認証

主管：要員認証管理委員会、ガス圧接技量検定委員会

①従来どおり、手動ガス圧接法、自動ガス圧接法、熱間押抜ガス圧接法によるガス圧接技量資格者の技量検定試験を全国各地で計 24 回実施する。

②天然ガス圧接法、高分子天然ガス圧接法によるガス圧接技量資格者の技量検定試験を上記に併せて実施する。

3) 鉄筋溶接技量資格者の認証

主管：要員認証管理委員会、鉄筋溶接技量検定委員会

鉄筋溶接技量検定規定に則り、鉄筋溶接技量検定試験をつくばで 4 回実施する。

4) 鉄筋継手部検査技術者・熱間押抜検査技術者の認証

主管：要員認証管理委員会、鉄筋継手部検査技術者技量検定委員会

鉄筋継手部検査技術者技量検定規定及び熱間押抜検査技術者技量検定規定に則り、鉄筋継手部検査技術者及び熱間押抜検査技術者の技量検定試験を全国各地で併せて 13 回実施する。

(6) 会社等認定に関する事項

1) 優良圧接会社・A級継手圧接施工会社の認定

主管：優良会社認定管理委員会、優良圧接会社認定委員会

当該認定会社の全国各地への普及を目指すため、昨年度に改正した優良圧接会社認定制度及びA級継手圧接施工会社認定制度に基づいて、当該申請会社の審査・認定を実施する。

2) 優良鉄筋溶接会社・A級継手溶接施工会社の認定

主管：優良会社認定管理委員会、優良鉄筋溶接会社認定委員会

鉄筋溶接継手を施工する会社に対して、圧接会社と同様に、優良鉄筋溶接会社、A級継手溶接施工会社の審査・認定を実施する。

3) 優良鉄筋継手部検査会社・登録鉄筋継手部検査会社の認定

主管：優良会社認定管理委員会、優良鉄筋継手部検査会社認定委員会

鉄筋継手の受入検査を代行するための第三者性のある検査会社の全国各地への普及を目指すため、優良鉄筋継手部検査会社及び登録鉄筋継手部検査会社の審査・認定を実施する。

4) 優良溶接せん断補強筋製造会社の認定

主管：優良溶接せん断補強筋製造会社認定委員会

鉄筋コンクリート構造及び鉄骨鉄筋コンクリート構造に使用される溶接せん断補強筋の品質を確保するため、当該補強筋の製造会社（工場）の品質管理体制を審査し、優良溶接せん断補強筋製造会社として認定する。

5) 機器技術等の認定

主管：機器技術等認定委員会

鉄筋継手に関する新工法・技術等（ガス圧接継手工法、鉄筋溶接継手工法等）の認定申請に応じて審査・認定を実施する。

(7) 支部活動に関する事項

主管：各支部、総務委員会、事業委員会、ガス圧接技術講習委員会

1) 支部会の開催

・鉄筋継手の品質確保に当たって、各支部の課題について検討する。

- ・鉄筋継手の品質確保のための協会諸制度についてユーザーへの周知方法を検討する。
- 2) ガス圧接技術講習会の実施
 - ・全国圧接業協同組合連合会及び各地区圧接業協同組合と連携して各支部におけるガス圧接技術講習会を実施する。
 - 3) 本部の要請に応じて活動する。
 - ・各支部所在地における構造設計者・工事監理者向け鉄筋継手技術講習会の開催を支援する。